

SHINICHI

広報 新地 8

— 3月11日の記憶 —

未来へ

語り継ぐ



「新地町復興計画」を策定します

震災以前の元気・活力、暮らしの再建

町では、東日本大震災からの復興に向け、「新地町復興計画」を策定します。

復興計画の策定にあたっては、有識者や行政区推薦委員等で組織する町復興計画策定委員会
で調査・検討し、町民アンケートや懇談会の開催などによって、町民のみなさんの意見を取り入れ、復興構想を9月までに、復興計画を12月までに策定する予定です。

第1回策定委員会

策定方法などを意見交換



第1回新地町復興計画策定委員会が7月13日(水)、町役場で行われました。

策定委員会には、町長が指名した有識者、各地区や各種団体から推薦された15名の委員が出席しました。櫻井芳夫さん（行政区長会長）が会長に、後藤一茂さん（消防団長）が副会長に選出されました。

その後、町復興対策室から被災状況、町復興計画策定基本方針（下欄参照）・策定スケジュールについて説明が行われた後、策定委員による意見交換が行われました。

策定委員の主な意見は次のとおり。

- ・委員として実際の現場を把握することが大事。
- ・委員（住民）の意見を柔軟に取り入れてほしい。
- ・若い人の意向、できれば小・中学生の意向も把握してほしい。
- ・中長期的な視野を持ちつつ、短期的に作業を進めなければならぬ。
- ・復興計画の案を早めに住民に公開し、住民と対話を積み重ねてまとめていく方法がよい。
- ・早急に農地、宅地など、

復興計画策定にあたっての基本方針（抜粋）

「元どおりに戻す」という「復旧」だけでなく、次の視点に立ち「町民生活が震災前以上の元気・活力を備えることができるよう、暮らしの再建を図る」という「復興」をめざします。

（1）命と暮らし最優先のまち

自然災害については、被害を最小化する「減災」の理念に基づき、命と暮らし最優先の災害に強い社会づくりをすすめます。原子力災害については、一刻も早い収束を要請しますが、収束後もこれと向きあってまちづくりをすすめます。

（2）人の絆を育むまち

地域コミュニティを再生し、町民・事業者・町の役割分担のもと協働のまちづくりをすすめます。

（3）自然と共生する海のあるまち

素晴らしい海・里・山を活用し、再生可能エネルギーの活用など、自然の豊かさを感じられる「海のあるまち」の再興をすすめます。

土地利用の方針を出してほしい。

・役所だけに任せては、間に合わない。住民意見を反映した計画づくりをするなら、住民自らがどんどんワークショップをやってほしい。

町復興委員会は復興計画策定まで毎月1回開催を予定しています。

町復興に関するみなさんの意見を募集しております。

様式は自由です。郵送やメール等により企画振興課までご提出ください。また、復興計画の素案ができた段階でも意見を募集します。

— 未来へ語り継ぐ —

story 0 語り継ぐこと



『新地の昔話』（新日本文芸協会発行）「瀬上羽衣」「姫君と名馬」「おねこさま」など30話を収録。新地町図書館にも所蔵しています。

震災後間もない4月。一冊の本が発行されました。

「新地の昔話」です。

新地語ってみっ会の村上美保子さん（釣師）が、新地町に伝わる昔話の中から30話を選んで書き下ろし、それを語ってみっ会のメンバーが編集して出版したものです。新地町の遠い昔の風景がよみがえり、郷土愛をはぐくむような話ばかりと大好評です。

語り継がれる昔話は、聞いた人、読んだ人の心なかに、美しい新地町をよみがえらせます。

震災の記憶もまた、一つの経験として語り継ぐことで、それを教訓とした未来のまちづくりのヒントとなるにちがいありません。

今回は、町民の方が経験した「3月11日」を紹介します。

story 1 「三陸での経験と家族」

story 2 「『じいちゃん』と呼ぶ声—教会での一晩—」

story 3 「避難所で食べようとしなかったおにぎり」

story 4 「生まれた命」

story 5 「震災をきっかけに」—少年の主張大会—

story 1 三陸での経験と家族



に
どと思います」

村上 美保子 さん

私はのんきにコタツでワイドショーを見ていました。「あ、地震だ」と思った瞬間に激しい揺れが来て、思わず外に飛び出しました。電柱が折れそうなくらい揺れ、目の前の道路にビビビッと亀裂が入りました。

ほどなくおさまったので、「やれやれ大きな地震だった。食器の片付けしなきゃ」と台所に向かったら、さっきよりも大きな地震が来て、這うようにして庭に逃げ出しました。廊下のつなぎ目のところには段差ができていて、そこから真っ黒い泥がブクブクと出てきました。「液状化だ！津波が来る」とっさにそう思ったのです。

実は私は小学生時代を岩手県の三陸で過ごし、三陸は津波が多いところ

ろで、子どものころ、明治の大津波はこの高さまで来たとか、昭和の大津波はここまで来たなどという話を、大人や学校の先生に聞かされて育ちました。

きっと私の頭のどこかに、その話があったのだと思います。本当に突然ですが、津波が来ると思いました。「ここに津波が来たなんていう話は聞いたことがない。津波なんて来ない」という夫を引く張るようにして車に乗り込みました。

避難所に向かう途中、とても気になったのは息子のことでした。会社から帰宅するために津波に向かって走っていく息子の車の映像が脳裏に浮かびました。すでに息子の携帯電話も会社の電話もつながらなくなっていました。「電話がつかないから、このまま会社まで行こう」そう言っただけで、夫の車を息子の会社に向か



◎村上 美保子さん

・哲夫さん（釣師）

釣師浜海水浴場の目の前にあった旅館『朝日館』の女将。美保子さんは、新地語ってみっ会のメンバーとして、民話の語りも行っていきます。

01



01. 村上さんが女将をつとめていた朝日館
（震災前の様子）

02. 津波被害を受けた朝日館

02



「きっと私の頭のどこかに その話があったのだ」

わせました。

道路にはあちこち亀裂が入り、段差ができていました。会社の坂元工場まで何とかたどりつき、「（息子がいる）本社はどうなりましたか？」と聞くと「電話がつながらないので様子がわかりません」という返事。心配なのでこれから（20分離れた）山下の本社まで行こうと思うと言うと、「危ないから帰った方がいい」と言われ、行くことを断念し、家に帰ることにしました。

道路は渋滞していました。保健センターの駐車場までたどりつきました。そのときすでにカーラジオから「岩手県に6mの津波」という情報が流れていました。「ここではだめだ。もっと高いところまで車を上げた方がいい」と高台にある商工会の駐車場に車を止めました。

それから5分ぐらいたったでしょう。「津波だ」という悲鳴のような声を聞

きました。見ると、真っ黒な高い壁のような波が、押し寄せて来ていました。あつという間に、家がおもちゃのように流され、くるくると回りながら車が流されてきます。その光景は、まるで現実感がなく、映画かCGでも見ているようでした。

津波が引いたのを見て、向かいにある役場に避難しました。そこでも必死に息子に電話をしました。右手の親指のつけ根がはれて痛くなると、今度は左手で電話しました。何百回、何千回電話したことでしょう。奇跡的に電話につながりました。

息子は泣いていました。津波が来ているので会社での待機指示が出ていたとのこと。役場にいることを伝えると、息子はすぐにやってきました。

三人で抱き合って、人目もはばからずに号泣しました。



01. 三宅さんらが避難した日本聖公会磯山聖ヨハネ教会
02. 教会の中には、避難時にわずかな灯油で暖をとったストーブや、14時47分48秒で止まっていた時計があしました。



◎三宅 信一さん（埴浜）

震災時は、相馬市に出かけていた三宅さん。自宅にいた家族は、津波に追われるように裏山に駆けのぼり、避難しました。

『やーん』と呼ぶ声 全身の力が抜けました」

三宅 信一さん

出かけていた相馬市で地震にあいました。自宅にいる家族のことが心配で、急いで埴浜の自宅に戻ろうとしました。国道6号から埴浜の方を見ると白い煙のよなものが見え、火事だと思いましたが、それが津波の到達したときだったのだと思います。防波堤に波がぶつかり、白い煙のように見えたのでしょう。

いつも通る道は、すでにながれきが積み重なり、自動車では進むことができませんでした。そこで自動車を降り、がれきの上を歩きました。がれきは、地面が見えないくらい山積していました。足場を誤り、水中に胸まで落ちることもあり、ずぶ濡れになりました。ほとんど一面海でしたので、倒れた電柱や松の木を足場にその上を歩き、隣の山元町の山の中も通りました。やっとの思い出たどりついで、

「みんなは？」と聞くと、「みんないるよ」という返事。安心して全身の力が抜けました。

そこから家族で近くの高台にある教会施設に移動しました。教会の中には、先に避難していた近所の方々がいきました。

しかし、その中には、ここに避難しているであろう近所の人の姿が何人かありませんでした。心配でたまりませんでした。心配でたまりませんか？と尋ねることができませんでした。返って

story 2 教会での一晚



「『じいちゃん』

02

くる答えが怖かったからです。結局その質問はできずに一晚を明かしました。

3月11日は、雪が降るとても寒い日でした。全身びしょ濡れでしたので、「低体温症になってしまおうよ」と、近所のみなさんがシャツやズボンなどを貸してくれました。さらに教会にあったシーツや座布団にくるまり、寒さをしのぎました。その日は何も食べませんでした。寒さをこらえることに必死で、空腹感はありませんでした。

周囲の道路は寸断され、孤立している状況でした。幸い一緒に避難していた方の携帯電話がつながり、教会に避難していることを外部に連絡することができていました。また、地区長の三宅信幸さんと谷隆さん

が、がれきの上をあるいて救助要請にむかってくれました。残っている若い人たちは外で一晩火をたいて、生存の合図を送り続けました。

次の日、自衛隊のみなさんが助けに来てくれました。教会に避難していた全員が自衛隊の誘導で、歩いて避難所となっている福田小学校をめざしました。途中で、私たちが地元の知っている道を進もうとすると、「安全が確認できていない」と自衛隊のみなさんが通ってきて安全が確認できている道をたどりました。

福田小学校の避難所に着くと、地元のみなさんの顔がありました。安心し、うれしかったのを覚えています。

story 3 黒い渦と白い壁



谷隆さん

第3行政区埴浜地区の民生児童委員だったので、地震の直後は地域の方のことが心配になり、見回りに行こうとしました。しかし、道路の地割れがひどく、小塚橋には段差ができていて先に進むことができませんでした。

6mの津波が来るとの情報を知りましたが、わが家は海面から高い場所にあつたので大丈夫だろうと考えていました。

それでも妻と高台に避難し、様子を見ていました。第一波は、磯浜漁港の座礁船の残がいの船底が見えるほど波が引いたので、すぐに津波が来るとわかりました。結局、第一波は、それほど大きくありませんでした。

だが、それからまた徐々に水位が増してきました。黒い渦のような波が重なり、あつという間に周りの建物や道路が飲み込まれました。すると沖の方に、巨大で真っ白な壁のような波が迫ってくるのが見えま

した。その波が、黒い渦と重なり、わが家も1階が流され、ダルマ落としのように2階部分がストンと落ちたのを、目の前で見ていました。私と妻も流されかけましたが、近くの木々をつかみ、なんとかこらえました。少し波が引いたところで、次の津波が来ないうちに避難しようと、磯山地区にある教会へ向かいました。教会で近所の方々と一緒に、福田小学校に移動するかという話にもなり

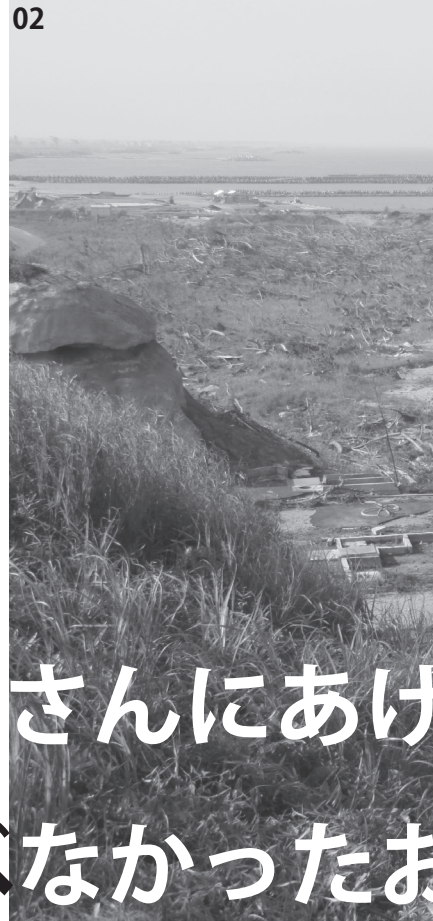


◎谷 隆さん（埴浜）

太平洋を眼下にのぞむ美容室の主人。震災時も妻の奈津子さんと自宅・お店にいました。すぐ隣は宮城県山元町。民生児童委員もつとめています。



- 01. 谷さんの自宅があった場所。奥に見える高台が一時避難していた場所。
- 02. 高台は、海面からおよそ15mある。北側には、宮城県山元町の磯浜漁港を見下ろす。座礁船の残がいもわずかに見える。



「息子がお母さんにあけ 食べなかったお

ましたが、周囲の状況がわからないので、バラバラになるよりはみんなで一緒にいたほうがよいということになりました。

波にのまれびしょ濡れだったので、近所の方が衣類を持ってきてくれました。ズボンは女性物でしたが、寒さを和らげるには十分でした。

高台の教会にいと、下の方から「おーい、おーい」と声が聞こえました。近所の三宅信一さんでした。家族と一緒に教会に来たときの信一さんの憔悴しきった表情を今でも覚えています。

しばらくして、私は地区長の三宅信幸さんとがれきの上を進み、助けを求めに行きました。避難所となっている福田小学校で、教会に避難者がいることを話し、救助を要請しました。

その後、私は息子を保育所に迎えに行きました。地震発生からかなり時間がたったので、保育所に残っていた子どもは息子だけでした。女性物のズボンを着き、見慣れない姿の私を見て違和感を感じたのでしょうか、息子は不安な様子でした。第一声で「お母さんは？」と聞くので、私は「教会にいる」と答えました。息子は教会に行ったことがなかったので、「教会」の意味がわからず、姿の見えない母親のことをとても心配していました。

自宅には帰れないので、その日は息子と福田小学校の避難所に入りました。ここでは、福田地区のみなさんが食料を持ちよってくれ、おにぎりが出されました。すると息子は「お母さんにあげる」と、そのおにぎりを食べようとしませんでした。母親の偉大さを感じました。

次の日、教会にいた妻は、自衛隊のみなさんの救助で、福田小学校に避難することができました。

story 4 誕生



櫻井伸彦さん・由香さん

櫻井伸彦さん（新町）から、震災後をはじめて出生届が提出されました。妻の由香さんは

「3月に3人目のお産を控えていました。南相馬市内の病院で出産する予定でした。3月11日はお腹が痛かったのですが、夫が運転する車で南相馬市の病院に行っていました。そこで地震にあいました。保育所にいる2人の子どもたちが心配で、家に帰ろうとしましたが、道路が渋滞しており、帰宅するのに1時間以上かかりました」

「原発事故のこともありましたので、親戚がいる茨城県に避難しようとしたのですが、その途中の車内で破水してしまいました。慌てて引き返し、南相馬市内のかかりつけの病院に行こうとしましたが、休診だったため、相馬市内の病院で出産しました」

誕生おめでとう

(平成 23 年 2 月 21 日～ 7 月 20 日)

(子ども) (親) (地 区)

み 未	らい 来	関川雅博・多恵	釣 師
れ 鈴	お 王	鈴木正彦・叶恵	沢 口
こ 心	ね 音	小野祐樹・由香	大戸浜
る 瑠	い 唯	櫻井伸彦・由香	新 町
り 龍	が 芽	八巻淳・恵美子	菅 谷
ひ 枇	な 凡	菅原政紀・直恵	新地町
あ 朝	な 奈	齋藤舟郎・優香	岡
げ 元	た 汰	武田智浩・静枝	高 田
ほ 穂	み 美	後藤直之・友美	富 倉
さ 桜	こ 子	小野勝幸・和美	釣 師
	た 樹	佐藤孝広・照美	小 川
き 綺	と 来	向坂雄丞・由美	小 川
め 芽	い 生	菊地裕人・由梨	高 田
な 奈	な 那	早川裕士・麻美	高 田
り 璃	お 央	野原禎紀・富美恵	藤 崎
み 未	い 衣	阿部 豊・敦子	新地町
あ 明	り 莉	河上康彦・智香子	上真弓
め 芽	か 夏	鈴木洋輔・早苗	沢 口
し 詩	お 音	武田信太郎・ゆきえ	岡
あ 新	た 汰	坂元崇浩・真弓	釣 師
くら 蔵	も 治	水戸敏之・幸子	富 倉

広報しんちでは、毎月生まれたお子さんをご紹介します。掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。



震災後、出生届を最初に出した櫻井さんご家族。櫻井伸彦さんと妻の由香さん、長男の陽斗くん、次男の陸くん、そして3月に生まれた三男の瑠唯くん。

未来の希望 誕生おめでとう

瑠唯くんのほかに、町内には多くの産声があがっています。

震災の影響で、広報しんちに掲載できなかった子どもたちをご紹介します。

story 5 震災をきっかけに

新地町少年の主張大会

新地町少年の主張大会が7月15日、尚英中学校体育館で行われました。

町内3小学校と尚英中学校から10人の発表があり、最優秀賞には、八巻佳那さん（福田小6年）の発表が選ばれました。

今回は、震災をきっかけに、学んだことや経験したことをテーマにした発表が多くありました。

最優秀賞

「やってみよう！ボランティア」

八巻 佳那さん（福田小6年）

みなさん、ボランティアという言葉の意味を知っていますか？ボランティアとは、自主的に社会事業などに参加し、無償の奉仕活動をすることです。この会場にいるほとんどの人がこのボランティアという言葉の意味を知っていると思います。では、実際にボランティア活動を行ったことはありますか？会場のみなさんにお聞きします。自分から進んで、地域や社会のためにボランティア活動を行ったことがある人は手を挙げてください。

ありがとうございます。ボランティアという言葉の意味は分かっていますが、実際に行動に移すことができないという人が多いのではないかと思います。何を隠そう、私もその一人でした。でも、あることをきっかけに、ボランティア活動には

まっけてしまったのです。私がボランティア活動を始めたきっかけは、東京など、被災地から遠く離れたところからわざわざ東北の被災地に来て、ボランティア活動をしている人たちをテレビで見たからです。その映像を見たとき、私は、「自分は新地町に住んでいるのに何もしていない」ということに気がついたのです。そこで、私は、「ボランティア活動をやってみよう！」と決意しました。

先月、私は、新地町のボランティアセンターに行き、ボランティア名簿に登録をしました。いよいよボランティア活動の始まりです。初めての作業は、側溝のどろ運びでした。私は、何をしたらいいのか分からず、立って見ているだけでした。すると、私の班の班長さんに声をかけられました。

「小学生なのにえらいね。どうしてボランティアに参加

加しようと思ったの？」と聞かれ、「自分の町のために何かできたらなと思ったからです」と答えました。すると、班長さんや周りにいた人たちがたくさんほめてくれ、私は、ちょっと恥ずかしくなってしまうました。それから、続けて班長さんから、「あのね。立って見ているだけじゃなくて、自分から話しかけて、仕事に取り組むといいよ。そうすると、楽しく作業できるんじゃないかな。がんばろうね」とアドバイスしてくれました。それまで、なんとなく緊張していた気持ちが一掃と軽くなり、「よしーやってみよう！」と改めて思いました。そこで、近くにいた人に話しかけてみると、普段、友達と話しているように、楽しく話しができたことで、作業もスムーズに行うことができました。側溝にあったどろを取って、



【入賞者】

最優秀賞 八巻 佳那さん (福田小6年)

優秀賞 阿部早也香さん (尚英中3年)

菅野 彩織さん (新地小6年)

努力賞 黒沢萌々花さん (尚英中2年)

菅野 聖来さん (福田小6年)

袋につめるのはとても大変だったけど、少しずつきれいになっていく様子を見て、「本当にボランティアをやってよかったな」と思いました。ボランティアをしたことで、お金では買えない大切なものを手に入れることができました。

ボランティアをしている最中、一つ疑問に思ったことがあります。それは、「ボランティアをしている子どもは、どうして私だけなんだろう」ということです。私は、ボランティアを行う子どもが少ないのは、次の三つの理由があるのではないかと思います。

一つ目は、ボランティアをやってみたくが用事がありできない人。

二つ目は、だれかがやっているから、自分はやらなくてもいいのではないかと思っている人。

三つ目は、はじめからボランティアに興味がない

人。

みなさんは、この三つどれに当てはまりますか？

私が今日、ボランティアについてお話したこと、少しでもボランティアについて関心を持ってもらえればうれしいです。

そして、考え方を、「子どもだからやらない」から「子どもだからこそやってみる」に変えてみてはどうでしょうか。子どもだからこそできることはたくさんあると思います。

新地町には、絶滅危惧種の黒メダカや蛭、どじょうなど豊かな自然があります。今回のボランティアは、そのような自然を育んでくれた新地町に感謝の気持ちをもって恩返しをするチャンスだと思おうし、たくさんの人と関わり合うことで、自分が成長することができるものだと思います。

会場にいるみなさん。ぜひ、一歩踏み出してボランティア活動をやってみませんか？

暮らしの情報



東日本大震災 義援金2次配分

町では、国（日本赤十字社など）および県義援金の配分基準にもとづき、2次配分を行います。

1次配分を申請した方は、新たな手続きは不要です。8月10日付けで1次配分の指定口座に振り込みますので、ご確認ください。

住家全壊

735,808円

同大規模半壊・半壊

367,904円

※1世帯あたり

死亡者・行方不明者

735,808円

※1人あたり

◎問い合わせ

新地町災害対策本部

(☎622111)

遺児または孤児へ 東日本大震災 県義援金を支給

18歳未満の子どもで、今回の震災で両親を亡くされた（行方不明の）震災遺児に100万円、父または母を亡くされた（行方不明の）震災孤児には50万円を支給します。

対象となる方には、申請書を郵送にてお送りしますので、同封の記載例を参考に記入いただき提出願います。

◎問い合わせ

新地町災害対策本部

(☎622111)

町内の空間線量率調査結果

町では、町内23か所で放射線量の独自調査を行いました。7月26日(火)の測定結果は次のとおりです。(μSv/h)

	測定場所	地表面	測定値 26日
1	福田小学校	土	0.28
2	福田保育所	土	0.37
3	木崎公会堂	土	0.44
4	北原工業団地	砂利	0.31
5	鈴宇峠県境	砂利	0.47
6	沢口ふれあい広場	芝	0.46
7	狼沢集会所	土	0.59
8	新地小学校	土	0.24
9	尚英中学校	土	0.41
10	新地保育所	土	0.40
11	鹿狼山登山口駐車場	砂利	0.41
12	今泉農集排処理場	砂利	0.17
13	総合公園こどもの森	芝	0.50
14	新地浄化センター	芝	0.35
15	岡公会堂	舗装	0.19
16	杉目集会所	舗装	0.23
17	釣師浜漁港	舗装	0.15
18	新地町役場	舗装	0.20
19	菅谷公会堂	土	0.39
20	駒ヶ嶺小学校	土	0.43
21	駒ヶ嶺保育所	土	0.43
22	大沢北国道113号県境	砂利	0.32
23	藤崎公会堂	砂利	0.36

※測定は毎週火曜日
地上1m（3保育所は50cmの高さ）

町民野球場 テニスコート 利用再開について

町では、震災により利用を中止していた町民野球場およびテニスコートを9月1日より一部再開します。ただし、当面の間の夜間利用はできません。

なお、野球場周辺の地盤沈下等による復旧工事を行う予定ですので、ご理解と協力をお願いします。また、トイレについては、仮設トイレをご使用ください。

◎問い合わせ

新地公民館

(☎622085)

新地町青少年健全育成 町民会議からの お知らせ

平成23年度新地町青少年健全育成町民会議運営委員会が7月8日、保健センターで開催し、次のとおり決定したのでお知らせします。

1. 総会について

東日本大震災に伴う、各地区の状況を鑑み今年度の総会は中止としました。

2. 会費について

平成23年度の会費（1戸100円）は徴収しないことにしました。

3. 事業について

平成23年度は、次のとおり事業を推進します。

- (1)各地区青少年健全育成町民会議事業補助
各地区100,000円
- (2)小・中学校青少年健全育成町民会議事業補助
47,000円
- (3)少年の主張大会

◎問い合わせ

生涯学習課

(☎622085)

臨時職員募集

週4日8時～15時（休憩1時間）

勤務場所 町内小学校

賃金

学習支援員

2,500円/時

学習支援補助員

1,500円/時

選考方法

書類審査および面接

※面接日時は、別途お知らせします。

面接会場 新地町役場

応募方法 履歴書（任意）

を役場3階教育総務課に提出してください。

募集期間 8月5日～18日

※緊急雇用創出基金事業を活用した県および市町村が実施する基金事業に従事した経験があり、その通算雇

用・就業期間が6か月以上である方は応募できません。

※福島県ふるさと雇用再生特別基金を活用した県および市町村が実施する事業に従事した経験がある方は応募できません。

◎問い合わせ
教育総務課
(☎②4477)

町では、町立小学校の学習支援員等を募集します。

募集内容 学習支援員または学習支援補助員

募集人員 1名

応募資格

町内および周辺地域に在住の18歳以上で、現在失業状態にあつて求職活動中の方

※学習支援員の場合は、養護教諭または小学校教諭の資格を有する方

雇用期間

8月下旬から6か月以内

ただし、この期間を更新することができません。

勤務時間

勤務時間

町では、町立小学校の学習支援員等を募集します。

募集内容 学習支援員または学習支援補助員

募集人員 1名

応募資格

町内および周辺地域に在住の18歳以上で、現在失業状態にあつて求職活動中の方

※学習支援員の場合は、養護教諭または小学校教諭の資格を有する方

雇用期間

8月下旬から6か月以内

状況です。今しばらくの間、ご不便をおかけいたしますが、ご理解をお願いいたします。

なお、ADSLは利用可能です。

◎問い合わせ
企画振興課
(☎②2112)

「高齢者・障がい者の人権あんしん相談」強化週間

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会では、9月5日から11日までを、全国一斉「高齢者・障がい者の人権あんしん相談」強化週間として、人権問題についての電話相談を実施します。相談は、人権擁護委員および法務局職員が応じます。秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

なお、強化週間期間以外の日（土・日・祝日を除く）も相談に応じています。

期間 9月5日（月）～11日（日）

「高年齢者・障がい者の人権あんしん相談」強化週間

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会では、9月5日から11日までを、全国一斉「高齢者・障がい者の人権あんしん相談」強化週間として、人権問題についての電話相談を実施します。相談は、人権擁護委員および法務局職員が応じます。秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

なお、強化週間期間以外の日（土・日・祝日を除く）も相談に応じています。

期間 9月5日（月）～11日（日）

「高年齢者・障がい者の人権あんしん相談」強化週間

財団法人福島県下水道公社では、次のとおり「平成23年度下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験」を行います。

期日 講習会10月1日（土）試験10月30日（日）

講習会場 郡山ユラックス熱海

試験会場 日本大学工学部（郡山市）

講習・受験手数料 各3,000円

申込締切 9月2日（金）

◎申し込み・問い合わせ
都市計画課
(☎②2113)

下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験

財団法人福島県下水道公社では、次のとおり「平成23年度下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験」を行います。

期日 講習会10月1日（土）試験10月30日（日）

講習会場 郡山ユラックス熱海

試験会場 日本大学工学部（郡山市）

講習・受験手数料 各3,000円

申込締切 9月2日（金）

◎申し込み・問い合わせ
都市計画課
(☎②2113)

ふくしま駅伝 新地町チーム選手募集

町では、11月20日に行われる「第23回福島県縦断駅伝競走大会」の選手を募集します。新地町在住または新地町出身の男女で、中・長距離に自信のある方の参加をお待ちしています。

◎申し込み・問い合わせ
生涯学習課 (☎②2085)



町の光ファイバ網を利用したNTT東日本「フレッツ光」は、東日本大震災により、光ファイバの幹線の一部が流出、断線しており、一部のエリア（埴木崎、釣師、大戸浜、今泉）でNTTフレッツ光サービス（インターネット、ひかり電話）が利用できない状態となっています。

国の災害復旧事業費補助金で復旧を予定しておりますが、年内の復旧は難しい

8時30分～19時
ただし、9月10日（土）・11日（日）は、10時～17時までです。
相談電話番号
0570-0003-110
◎問い合わせ
福島県方法務局人権擁護課
024-534-1994



高野 育恵ちゃん
(小川)



二本木望来ちゃん
(富倉)

4月18日・7月25日に行われた3歳児健診では、虫歯0の子どもは受診者29名中17名でした。

むしばゼロ 虫歯0の 子どもたち



齋藤 陽輝くん
(中里)



加藤 慶悟くん
(小川)



星 雄陽くん
(藤崎)



伊藤 琴音ちゃん
(小川)



森 生武貴くん
(菅谷)



持立柳之介くん
(小川)



目黒 葵くん
(小川)



八島 快人くん
(上ノ町)



門馬 未紘ちゃん
(小川)



鈴木 梨央ちゃん
(小川)

母と子の健康

健康診査等	対象者	日時
母子手帳交付	妊娠とわかったら母子健康手帳の交付を受けましょう	8/5(金) 8/20(金) 9時~10時
	10か月児・1歳児健診	H22年10・11月生 / H22年6・7月生 8/8(月) 13時~ 13時15分
	1歳6か月児健診	H21年11月~ H22年1月生 8/22(月) 13時~ 13時15分

◎場所は保健センターです

たんぽぽひろば

期日	内容	場所
8月17日(水)	すいか割り	保健センター
9月7日(水)	保育所活動	駒ヶ嶺保育所

◎活動時間は10時からです

◎月~土(10時~12時)は「なかよしひろば」として児童館を開放していますのでご利用ください。



村井 里緒ちゃん
(小川)



目黒 聖那くん
(小川)



水戸 悠人くん
(新地町)



大森 望愛ちゃん
(藤崎)



菊地 凧咲ちゃん
(高田)

図書館へ行こう

=新着本のご案内=

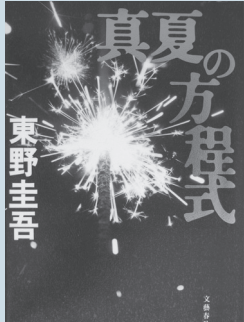
図書館 再開

視聴覚室（学習室）で貸出業務を再開しました。

◎一般書

『真夏の方程式』

東野 圭吾



夏休みを伯母一家が経営する旅館で過ごすことになった少年・恭平。仕事で訪れた湯川も、その宿に滞在する。翌朝、もう1人の宿泊客で元刑事の男が、変死体で見つかり…。ガリレオシリーズ長編。『週刊文春』連載を単行本化。

『日本男児』

長友 佑都



5年前、明治大学のサッカー部の応援で太鼓をたたいていた長友佑都は、なぜ世界一のクラブチーム・インテルに入ることができたのか？今、最も“熱い”男が、これまでの軌跡の全てを綴る。

『アンダー・ザ・ドーム（上・下）』

スティーン・キング

『一升枳の度量』

池波 正太郎

『積極的その日暮らし』

落合 恵子

『マルモのおきて』

木俣 冬

『あきらめなかったいつだって』

森 光子

『節電しながら猛暑を乗り切る！エコ涼生活』

嶽 春来

『節電レシピ』

レタスクラブMOOK

『熱中症対策マニュアル』

稲葉 裕／監修

ほか

◎児童書

『夏のサイン』

最上 一平



たったひとりの同級生のりんちゃんが、引っこすことになった。4年生はつばさひとりになってしまう。りんちゃんと過ごせるのは、あと数日。つばさは思いっきり楽しもうと、ふたりだけのキャンプを考えたが…。

『たどってごらん』

accototo



さあ、線路をたどって出発だ！町を走り、トンネルをぬけて、海に入って…。指で線路をたどって、絵本のなかをいったりきたり。何度でも楽しめる新感覚の絵本。

『キャットと王立劇場のダイヤモンド』

ジュリア・ゴールドディング／作

雨海 弘美／訳

『サッカーボーイズ13歳』 はらだ みずき

『すぐできる！よくわかる！自由研究』

学研キッズネット編集部／編

『おばけのしゅくだい』

むらい かよ

『はなかつぱとももかつぱ』 あきやま ただし

『ごちそうだよ！ねずみくん』

なかえよしを／作 上野 紀子／絵

ほか

図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				8月	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	9月	1	2

■は休館日

新地町図書館

☎5031



図書館は、震災による被害のため、休館していましたが、7月13日から視聴覚室において貸出業務を再開しました。

開架フロアは、天井部等に損傷がありますので、今後の本格的な復旧工事が終わるまで使用できません。ご理解ご協力をお願いいたします。

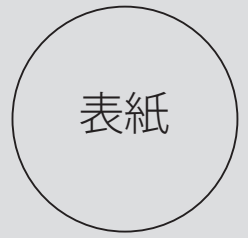
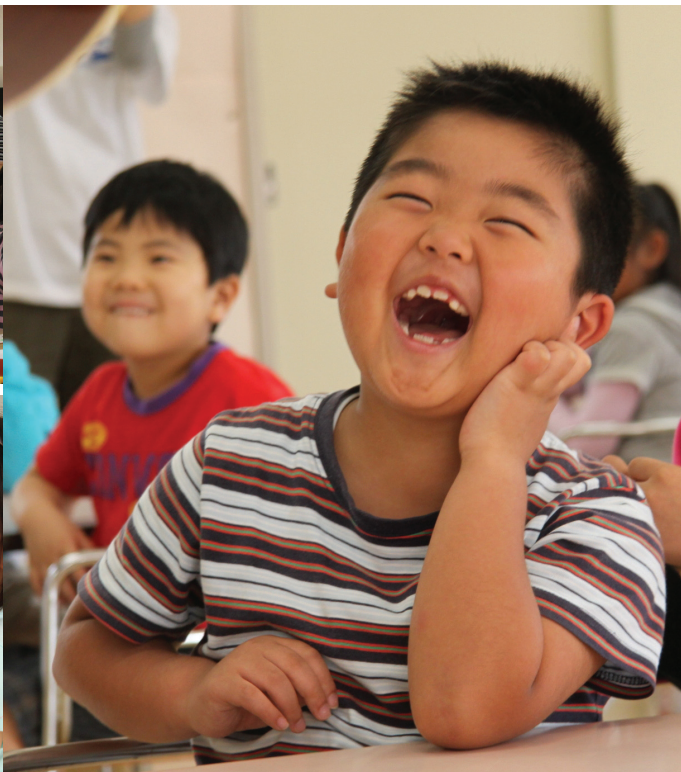


Good Smiles

輝く笑顔は 未来の希望

— 保育所の子どもたち —

震災の被害を受けながらも、4月11日に再開した保育所。現在では、子どもたちの元気な笑顔があふれています。



3月の震災直後に生まれた櫻井瑠唯くん。父親の指を力強く握る小さな手。

生後4か月にして、すでに寝返りができるたくましい男子です。



- 02 復興計画を策定します
- 03 未来に継ぐ
3月11日の記憶
- 12 少年の主張大会
最優秀賞発表内容
- 14 暮らしの情報
- 16 虫歯0の子どもたち
- 17 図書館へ行く
貸出業務を再開
- 18 Good Smiles
保育所の子どもたち